

下仁田小中学校心の教育9年間の系統一覧表(案)

下仁田小中学校に共通の課題		単学級の弊害として、人間関係がリセットされず、引きずってしまうことがある。	
学年	目指す児童生徒像	テーマ	主な学習内容
小1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の思いを素直に聞くことができる児童 ・ 自分の思いを自分の言葉で伝えることができる児童 ・ 自分も友達も大切にできる児童 	ソーシャルスキル 「にっこり言葉（ふわふわ言葉）に変身」	絵本の読み聞かせを通し、ふわふわ言葉（にっこり言葉）とちくちく言葉という視点や言葉の魔法で変身できることを知る。
小2		自己理解 「上手な話の聴き方&さいころトーキング」	友達の言葉をどう聞くと良いかを知り、さいころトーキングの活動を通して楽しく話したり聞いたりするスキルを高める。
小3		アンガーマネジメント 「ムカムカイライラの気持ちはあばれんぼう」	ムカムカイライラした気持ちは自分を守る大事な気持ちの一つであることを理解し、そんな気持ちとの上手な付き合い方を知る。
小4		アサーショントレーニング 「上手に自分の思いを伝えよう」	自分の思いや主張を相手に受け入れやすく伝える伝え方「アサーション」について知り、状況に応じて使えるように工夫する。
小5		問題の解決 「できるだけたくさん考えよう」(含 いじめ予防授業)	教室内の問題の仮事例を使い、自分の考え、友達の考えを出し合いいろいろな角度から考える。その中でいじめの定義にも触れ解決に向けた対応をとれる基盤を作る。
小6		ストレスマネジメント 「ストレスとの上手な付き合い方&SOSの出し方受け止め方」	ストレスと上手に付き合うコツと、それをうまく信頼できる人に伝えたり受けとめたりして、相互に心を緩めて生きることができる力を育む。
中1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の思いや考えを伝え合い聴き合うことができる生徒 ・ 人との関わりつながり大切にできる生徒 ・ 自らより良くしようと考える生徒 ・ 気持ちをコントロールできる生徒 	リフレーミング 「自分で高める自己肯定感」	人は欠けた部分に目を向けてしまいがちなため、自己の欠点に目が向くことが多いが、リフレーミングすれば自分の強みになることをグループワーク等で体感する。
中2		感情コントロール 「感情を味方につけよう」	快の感情も不快な感情も自分を守る大切な感情であり、その気持ちを味方につけて他者にうまく伝えるスキルを身に付ければ生活が楽になることを知る。
中3		自己理解 「25歳の私からの手紙」	自分の願いや欲求を中心に自己理解を深め、今後の夢や目的を持たせ、同時に自分の今後の生き方あり方を考え、相互に語り合う。

*上記の指導は、学級活動の時間に、担任とスクールカウンセラーとのTTで行うものである。
 *上記の指導だけでなく、子どもたちの日常に定着できるようにするためにも、朝の会や帰りの会の短時間を利用してできるソーシャルスキルトレーニングやピアサポートのトレーニング等も計画的に行っていく必要がある。